

シンポジウム

# 木津川流域史からの 日本史への問い



藤原京をつくったとき、材木は木津川から運んだという。畿内で重量物の運搬に最も適した川は、その大きさといい、流れの穏やかさといい、木津川だ。だから国家統治の要としての大都市建設が必要になる時代、王権は木津川流域に拠点求めた。最初が平城で、次が恭仁京であった。長岡京も平安京も広い意味では木津川流域であった。木津川流域史を考えることで日本史の見直しをしてみたい。

パネラー

**小路田 泰直**／国家史の観点から

奈良女子大学 特任教授

**大久保 徹也**／考古学の観点から

徳島文理大学 教授

**斉藤 恵美**／行基論の観点から

奈良女子大学 特任助教

コメンテーター

**中川 佳代子**

株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR）  
事業開発室リーダー

2022.

7.16 (土)

場所：けいはんなプラザ交流室  
「天の川+PLUS」(ラボ棟北側 11F)

要申込 (定員 50 名、先着順)  
参加費無料

時間：13:30 ~ 16:00



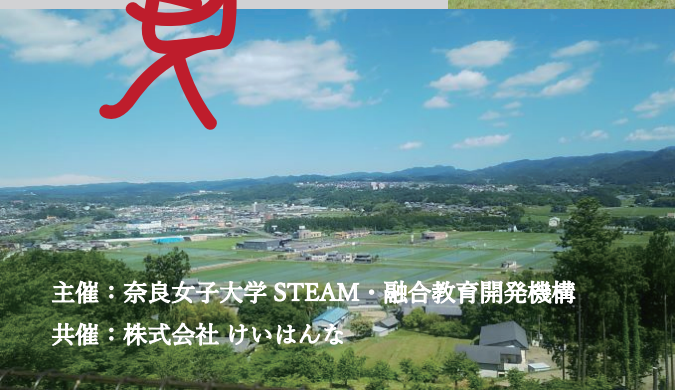
※You Tube ライブ (「奈良女子大学けいはんな  
公開講座」チャンネル) による同時配信  
アーカイブは 7 月 20 日 (水) 18 時まで  
※You Tube は申込不要

会場参加申込は  
こちらから ⇒



問合せ先

奈良女けいはんな  
narajo.keihanna@gmail.com  
(QR コードが読み取れない方はこちらのアドレスに  
氏名・氏名のフリガナ・連絡先をご送信ください。)



主催：奈良女子大学 STEAM・融合教育開発機構

共催：株式会社 けいはんな